2．主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

⑴　主たる事務所の所在地　　東京都港区六本木６丁目11番１号

⑵　ディスクロージャー担当部署　総務部　情報公開室

⑶　電話番号　　03―5785―7930

3．平成29事業年度の事業計画の概要

⑴　競馬の開催

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	２回	12日	東京競馬場	５回	45日
函館競馬場	２回	12日	中京競馬場	４回	26日
福島競馬場	３回	20日	京都競馬場	５回	44日
新潟競馬場	３回	26日	阪神競馬場	５回	42日
中山競馬場	５回	41日	小倉競馬場	２回	20日

・合計開催回数　36回

・合計開催日数　288日

⑵　馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許の実施

馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許について、厳正に実施する。なお、馬主の登録及びその抹消並びに調教師及び騎手の免許及びその取消しにあたっては、あらかじめ公正審査委員の意見を聴き、厳正を期す。

⑶　厩舎関係者の養成等

競馬学校において騎手及び厩務員の養成を行い、技能等の開発・レベルアップに資するため、養成システムを充実し、実践的かつ体系的な指導・教育を行う。また、厩舎関係者に対する研修を実施し、技術・知識の向上等を図る。

⑷　特別振興事業等

①　競馬場の周辺地域の住民又は競馬場の入場者の利便に供する施設の整備、オリンピック・パラリンピック競技会場としてのＪＲＡ馬事公苑の整備、地方競馬との連携・協調をより効果的なものとする諸施策その他競馬の健全な発展を図るため必要な事業を特別振興資金を使用して実施する。

②　畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。

③　特別振興資金を使用して、払戻金への上乗せ施策を実施する。

④　地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務及び認定競馬活性化計画補助業務に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付する。

4．平成28事業年度の事業報告の概要

⑴　競馬の開催状況

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	２回	12日	東京競馬場	５回	45日
函館競馬場	２回	12日	中京競馬場	４回	26日
福島競馬場	３回	20日	京都競馬場	５回	45日
新潟競馬場	３回	26日	阪神競馬場	５回	41日
中山競馬場	５回	41日	小倉競馬場	２回	20日

・合計開催回数　36回

・合計開催日数　288日

⑵　馬主、馬（競走馬）及び服色の登録並びに調教師及び騎手の免許

登録等の種類	登録等の数	取消の数	事業年度末数
馬主の登録	147名	125名	2,382名
競走馬登録	5,445頭	4,972頭	8,262頭
服色の登録	112件	119件	1,897件
調教師の免許	199名	２名	197名
騎手の免許	133名	０名	133名

※　上記のほか、国際交流競走に係る馬主の登録が２名、取消が６名、競走馬の登録及び取消が４頭、服色の登録が２件、取消が６件、調教師の免許が４名及び騎手の免許が７名あった。また、地方競馬との指定交流競走に係る馬主の登録及び取消が30名、競走馬の登録及び取消が92頭、調教師の免許が83名及び騎手の免許が70名あった。また、臨時試験による短期騎手免許者が24名あった。

⑶　競走馬の育成

日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、２歳馬74頭及び１歳馬74頭の育成を行った。また、日高育成牧場において、当歳馬５頭、１歳馬８頭及び２歳馬７頭のＪＲＡ生産馬の育成を行った。

⑷　騎手の養成・訓練

競馬学校において騎手の養成を行い、６名が卒業した。平成28事業年度末現在の在校者数は18名である。

⑸　特別振興事業等の実施

①　競馬場の周辺地域の住民又は競馬場の入場者の利便に供する施設の整備、オリンピック・パラリンピック競技会場としてのＪＲＡ馬事公苑の整備、地方競馬との連携・協調をより効果的なものとする諸施策その他競馬の健全な発展を図るため必要な事業を特別振興資金を使用して実施した。

②　畜産の振興に資するための事業に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付した。

③　特別振興資金を使用して、払戻金への上乗せ施策を実施した。

④　地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務及び認定競馬活性化計画補助業務に対し、特別振興資金を使用して、交付金を交付した。

5．政府からの出資額

49億2,412万９千円（資本金の総額）